

愛知県立大学学部横断研究

「諍い」から探る「共生」の方途

講演&座談会

佐々木 雄太(学長)・小澤 正人(外国語学部)

與那覇 潤(日本文化学部)・赤塚 大樹(看護学部)

成瀬 正(情報科学部)・宮崎 真素美(日本文化学部)

第1回 5月18日(水) 赤塚 大樹

「心の適応・不適応」

第2回 6月22日(水) 佐々木 雄太

「国際政治——諍いの歴史と共生の展望」

第3回 7月20日(水) 與那覇 潤

「これからの「アジア」の話をしよう

「非西洋型共生」の可能性と課題」

第4回 10月19日(水) 宮崎 真素美

「せめぎあう「ことば」—明治文明開化期の諸相」

第5回 11月30日(水) 成瀬 正

「人と共生するロボットの現状

---ロボカップ@home を例題にして---

第6回 12月21日(水) 小澤 正人

「SFの多元論：私の中のエイリアンたち」

第7回 1月25日(水) 総論

【時】各回ともに13:30~15:30

【場所】学術文化交流センター小ホール



■平成23年度 愛知県立大学理事長特別研究費採択研究

研究代表者：宮崎 真素美

◇各回ともに、「基調講演」とメンバー全員による「座談会」、来場者との「意見交換」で構成します。以下は、「基調講演」のテーマと概要です。ご来場をお待ちしております。

第1回 5月18日(水) 赤塚 大樹「心の適応・不適応」

私たちの心が『適応している(共生できていることを捉える一つの視点)』ためには、その心が成熟していること(mature personality)である。心の成熟を、Allport, GW の理論にたずね、一緒に考えたい。

第2回 6月22日(水) 佐々木 雄太「国際政治——諍いの歴史と共生の展望」

国際政治は「パワーをめぐる競争的闘争」と言われる。国際社会は「諍い」と「共生の模索」の歴史を歩んできた。20世紀は二次にわたる世界大戦と冷戦という3つの世界戦争を体験し、他方では国家間の「諍い」を回避しあるいは収めるすべを模索してきた。20世紀の国際政治に即して「諍い」の要因と「共生」の条件を考える。

第3回 7月20日(水) 與那覇 潤「これからの「アジア」の話をしよう：「非西洋型共生」の可能性と課題」

近代科学や主権国家、進歩史観などヨーロッパ起源の事物への信頼が揺らぐ中で、中国の台頭やイスラーム復興とともに注目を浴びるアジア。それは未来の私たちの「共生」のモデルとなるのか？歴史の立場から考えます。

第4回 10月19日(水) 宮崎 真素美「せめぎあう「ことば」—明治文明開化期の諸相」

明治文明開化とともに、文芸言語はさまざまな諍いと共生を経験することになった。漢文、英語、文語、口語...、当時の新体詩創出のありさまを中心に、その背景にある社会や思想、政治の様態を汲み取りながら考える。

第5回 11月30日(水) 成瀬 正「人と共生するロボットの現状——ロボカップ@home を例題にして——」

ロボカップに@home というリーグがあります。（@home はアットホームと読みます。）このリーグでは、人と共生する家庭用ロボットの開発を目指しています。このリーグの現状を概観し、鉄腕アトムやドラえもんに近づくための技術課題について考えてみたいと思います。

第6回 12月21日(水) 小澤 正人「SFの多元論：私の中のエイリアンたち」

自分と他人を区別するとは、自分を取り巻く境界線や、自分を作り上げている構成要素とシステムを明確にすることである。種々のSFを例に挙げて、この区別はいかになされるのか、本当に確実なのかを考察する。

第7回 1月25日(水) 総論

◇いずれも、13：30～15：30、学術文化交流センター小ホールでおこないます。

◇各回、大学HP：<http://www.aichi-pu.ac.jp/> の「ニュース イベント」欄に掲載します。開催日時の変更などがあります場合には当欄でお知らせしますので、あらかじめご確認ください。